

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅲ・ 消化器疾患患者の看護		池田 恵子		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	1年次教室	後期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	消化器疾患患者の看護を学ぶ				
到達目標	消化器疾患の症状が理解できる 主な消化器疾患の検査・治療・看護について理解できる				
事前学習	消化器の解剖生理を理解しておく 生化学、薬理学で検査データの意味や薬物の作用、副作用を復習しておく。				

### 授業計画

No.	授 業 内 容
1	消化器疾患患者の特徴 A. 症状に対する看護 嚥下困難、胸やけ、嘔吐、腹痛、吐血、下血、下痢、便秘、 腹部膨満、食欲不振、黄疸、肝性脳症
2	D・疾患を持つ患者の看護 食道癌：好発部位、症状、治療（手術療法、放射線療法） 胃・十二指腸潰瘍：症状、治療、生活指導 胃がん：手術療法、術後合併症、ダンピング症候群
3	大腸癌：ストーマ造設術を受ける患者の看護 イレウス：症状、イレウスチューブ
4	胆石胆嚢炎：腹腔鏡下胆嚢摘出術、術後合併症 肝炎：B型肝炎、肝臓癌：食道静脈瘤・肝性脳症、膵臓癌
5	B. 検査を受ける患者の看護 胃カメラ、大腸鏡、ERCP、肝生検、PTCD C. 治療、処置を受ける患者の看護 薬物療法、化学療法、食事療法
	※健康危機状態の看護とあわせて筆記試験を行う
履修上の要件	健康危機状態の看護および看護過程とあわせて1単位とする。
テキスト、教材、 参考書	医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ成人看護学5 消化器
成績評価の方法	筆記試験
備考	健康危機状況における看護及び健康危機の看護過程と併せて1単位とする。